

厚生労働大臣

殿

東京大学医学部附属病院長 武 谷 雄
東京大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 19 年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照 (様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照 (様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	172.08 人
--------	----------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照 (様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照 (様式第 13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職 種	常 勤	非常勤	合 計	職 種	員 数	職 種	員 数
医 師	553人	328.6人	881.6人	看護業務補助	3人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	15人	14.4人	29.4人	理学療法士	15人	臨床検査技師	109人
薬 剤 師	69人	2.9人	71.9人	作業療法士	6人	衛生検査技師	1人
保 健 師	0人	0人	0人	視能訓練士	4人	その他	4人
助 産 師	35人	0人	35.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	9人
看 護 師	1,067人	12.3人	1,079.3人	臨床工学技士	26人	医療社会事業従事者	2人
准看護師	10人	1.5人	11.5人	栄 養 士	0人	その他の技術員	36人
歯科衛生士	1人	0人	1.0人	歯 科 技 工 士	2人	事 務 職 員	376人
管理栄養士	8人	1人	9.0人	診療放射線技師	62人	その他の職員	225人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合 計
1日当たり平均入院患者数	1,068.1 人	13.1 人	1,081.2 人
1日当たり平均外来患者数	3,125.1 人	88.5 人	3,213.6 人
1日当たり平均調剤数	2,366.8 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式第10)

高度の医療の提供の実績

1 先進医療の届出受理の有無及び取扱い患者数

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膝靭帯再建手術における画像支援ナビゲーション	<input checked="" type="radio"/> 有・無	22人
凍結保存同種組織を用いた外科治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	28人
胎児心超音波検査	<input checked="" type="radio"/> 有・無	45人
インプラント義歯	<input checked="" type="radio"/> 有・無	27人
顎顔面補綴	有・ <input type="radio"/> 無	0人
顎関節症の補綴学的治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
経皮的レーザー椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	0人
スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
CTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
筋強直性又は筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
SDI法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
HDRA法又はCD-DST法による抗悪性腫瘍感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	0人
子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下肝部分切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性腫瘍に対する陽子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨髄細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
31P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
神経芽腫のRNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	7人
重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨軟部腫瘍切除後骨欠損に対する自家液体窒素処理骨移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
悪性脳腫瘍に対する抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・ <input type="radio"/> 無	0人
Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
エキシマレーザー冠動脈形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
活性化Tリンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
三次元再構築画像による股関節疾患の診断及び治療	<input checked="" type="radio"/> 有・無	32人
泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・ <input type="radio"/> 無	0人
頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによるCT透視下の経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
ケラチン病の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
末梢血単核球移植による血管再生治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
超音波骨折治療法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテーラーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input type="radio"/> 無	0人
X線CT画像診断に基づく手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	<input checked="" type="radio"/> 有・無	2人
膀胱水圧拡張術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
色素性乾皮症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性高インスリン血症に係る遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
歯周外科治療におけるバイオ・リジェネレーション法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
セメント固定人工股関節再置換術におけるコンピュータ支援フルオロナビゲーションを用いたセメント除去術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下直腸固定術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨移動術による関節温存型再建	有・ <input type="radio"/> 無	0人
肝切除手術における画像支援ナビゲーション	<input checked="" type="radio"/> 有・無	28人
樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法(腫瘍抗原を発現する消化管悪性腫瘍)	有・ <input type="radio"/> 無	0人
自己腫瘍・組織を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
自己腫瘍・組織及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
リアルタイムPCRを用いた迅速診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
先天性難聴の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
フェニルケトン尿症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腹腔鏡下子宮体がん根治手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
培養細胞による脂肪酸代謝異常症又は有機酸代謝異常症の診断	有・ <input type="radio"/> 無	0人

先進医療の種類	届出受理	取扱い患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	<input checked="" type="radio"/> 有・無	5人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
内視鏡下甲状腺がん手術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人
胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・ <input type="radio"/> 無	0人
早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・ <input type="radio"/> 無	0人
副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・ <input type="radio"/> 無	0人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

2 先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱い患者数	疾患名	取扱い患者数
・ベーチェット病	192人	・モヤモヤ病(ウイルス動脈輪閉塞症)	0人
・多発性硬化症	62人	・ウェゲナー肉芽腫症	5人
・重症筋無力症	103人	・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	22人
・全身性エリテマトーデス	424人	・多系統萎縮症	10人
・スモン	0人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	2人
・再生不良性貧血	41人	・膿疱性乾癬	9人
・サルコイドーシス	78人	・広範脊柱管狭窄症	7人
・筋萎縮性側索硬化症	34人	・原発性胆汁性肝硬変	140人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	300人	・重症急性膵炎	5人
・特発性血小板減少性紫斑病	57人	・特発性大腿骨頭壊死症	55人
・結節性動脈周囲炎	2人	・混合性結合組織病	61人
・潰瘍性大腸炎	289人	・原発性免疫不全症候群	10人
・大動脈炎症候群	54人	・特発性間質性肺炎	6人
・ビュルガー病	3人	・網膜色素変性症	18人
・天疱瘡	14人	・プリオン病	0人
・脊髄小脳変性症	81人	・原発性肺高血圧症	14人
・クローン病	66人	・神経線維腫症	20人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	6人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・悪性関節リウマチ	14人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	100人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	0人
・アミロイドーシス	8人	・ライソゾーム病(ファブリー[Fabry]病)含む	2人
・後縦靭帯骨化症	1人	・副腎白質ジストロフィー	5人
・ハンチントン病	3人		

(注)「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	1. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。		
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	8~10回/月 (103回/2007年度)		
検 の 状 況	剖検症例数	78 例	剖検率 16.4 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
組織幹細胞賦活化による心血管再生療法の開発	佐田政隆	循環器内科	720万円	補委 厚生労働省
動脈硬化進展の新規制御機構の同定と分子イメージング法への応用	佐田政隆	循環器内科	1,274万円	補委 日本学術振興会
血管の恒常性維持とリモデリングにおける外膜周囲脂肪組織の役割	佐田政隆	循環器内科	500万円	補委 日本学術振興会
保健医療分野における基礎研究推進事業 分子ネットワークの解析および創薬と治療法の開発・評価	永井良三	循環器内科	1億6千万円	補委 医薬基盤研究所
肝炎ウイルス感染の肝外病変の基礎的及び臨床的包括研究	小池 和彦	感染症内科	2,215万円	補委 厚生労働省
HIV感染症に合併する各種疾患に関する研究	小池 和彦	感染症内科	555万円	補委 厚生労働省
C型肝炎ウイルスによる肝発癌機構の解明	小池 和彦	感染症内科	630万円	補委 文部科学省
C型肝炎ウイルスRNAのマイクロ断片化によるウイルス増殖制御法の開発	小池 和彦	感染症内科	130万円	補委 文部科学省
代謝性疾患としてのC型肝炎	小池 和彦	感染症内科	600万円	補委 文部科学省
B型及びC型肝炎ウイルスの感染による肝がん発症の病態解明とその予防・治療法の開発に関する研究	小池 和彦	感染症内科	300万円	補委 厚生労働省
C型肝炎の治療とキャリアからの発症予防に関する基盤研究	小池 和彦	感染症内科	1,400万円	補委 厚生労働省
B型慢性肝疾患におけるB型肝炎ウイルスコアプロモーター、プレコアおよびコア領域の変異に関する検討	四柳 宏	感染症内科	100万円	補委 厚生労働省
メタボリックシンドロームのアジアと米国における発症機序とその健康対策に関する研究	大内 尉義	老年病科	100万円	補委 厚生労働省
高齢者高血圧コホート研究(J-CHEARS)	大内 尉義	老年病科	1,665万円	補委 公益信託日本動脈硬化予防研究基金
長寿遺伝子Sirt1の血管老化、血管障害における役割	秋下 雅弘	老年病科	200万円	補委 文部科学省
男性ホルモン低下に起因する老年病の治療戦略とその機序に関する総合研究	秋下 雅弘	老年病科	1300万円	補委 厚生労働省

小計 16

効率的転倒予測技術の開発と転倒予防介入による生活機能の持続的改善効果に関する縦断研究	秋下 雅弘	老年病科	100万円	補委	厚生労働省
心血管疾患のハイリスク患者スクリーニングのための新たな診断システムの構築とその臨床応用	秋下 雅弘	老年病科	150万円	補委	厚生労働省
心血管石灰化の病態解明と治療への応用-Gas6/Axlを介したアポトーシスの関与-	飯島 勝矢	老年病科	220万円	補委	文部科学省
高齢者糖尿病を対象とした前向き大規模臨床介入研究	飯島 勝矢	老年病科	150万円	補委	長寿科学振興財団
高齢者における慢性腎臓病(chronic kidney disease:CKD)と血管石灰化との関連についての解析	飯島 勝矢	老年病科	100万円	補委	三井住友海上福祉財団
骨粗鬆症予防に対する地域在住高齢者を対象とした転倒予防運動教室の効果に関する研究	小川 純人	老年病科	150万円	補委	骨粗鬆症財団
肝癌早期発見を目的とした分子マーカー及び画像診断	國土典宏	肝胆膵・移植外科	250万円	補委	厚生労働省
診療ガイドラインの新たな可能性と課題	國土典宏	肝胆膵・移植外科	50万円	補委	厚生労働省
大腸癌転移術後の再発抑制を目指した補助化学療法	國土典宏	肝胆膵・移植外科	130万円	補委	日本学術振興会
がん対策における管理指標群の策定とその計測システム	國土典宏	肝胆膵・移植外科	50万円	補委	厚生労働省
肝癌患者のQOL向上に関する研究	國土典宏	肝胆膵・移植外科	125万円	補委	厚生労働省
軽微な穿通枝虚血による白質障害に関する研究	斉藤延人	脳神経外科	533万円	補委	文部科学省
てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究	川合謙介	脳神経外科	70万円	補委	国立精神神経センター
言語、記憶機能の画像化と脳皮質電位計測、電気刺激による検	鎌田恭輔	脳神経外科	286万円	補委	文部科学省
言語、記憶機能の画像化と脳皮質電位計測、電気刺激による検	鎌田恭輔	脳神経外科	130万円	補委	文部科学省
Proteasome inhibitor のラット下垂体腺腫細胞に対する効果	辛正廣	脳神経外科	100万円	補委	脳神経財団
プラチナを使用しない新規動脈瘤治療用塞栓物質の開発	飯島明	脳神経外科	30万円	補委	文部科学省
皮膚由来の多能性幹細胞の分化誘導実験及び損傷脳・末梢神経への移植実験	高井敬介	脳神経外科	182万円	補委	文部科学省
拡散テンソル画像の統合によるガンマナイフ治療の安全性向上に関する研究	丸山啓介	脳神経外科	50万円	補委	文部科学省
大脳基底核・視床における虚血性脳障害後の神経再生誘導	川原信隆	脳神経外科	572万円	補委	文部科学省
脳虚血後の内在性神経幹細胞を用いた効率的再生療法の開発	川原信隆	脳神経外科	100万円	補委	先進医薬研究振興財団
マイクロサージェリーロボティクスの展開と微小外科手技のデジタル情報化の研究	森田明夫	脳神経外科	351万円	補委	文部科学省
ナノ粒子・収束超音波を用いた新しい脳腫瘍治療システムの開発	森田明夫	脳神経外科	100万円	補委	文部科学省
抗腫瘍免疫賦活能を有する癌特異的複製型ヘルペスウイルスベクターの基礎開発	藤堂具紀	脳神経外科	560万円	補委	文部科学省
増殖型遺伝子組換えヘルペスウイルスを用いた脳腫瘍治療開発の基礎研究	藤堂具紀	脳神経外科	983万円	補委	文部科学省

ウイルス療法の臨床研究 -遺伝子組み換え単純ヘルペスウイルスを用いた悪性腫瘍の標的治療-	藤堂具紀	脳神経外科	9,830万円	補委	文部科学省
高分子ミセル型ナノキャリアによる悪性脳腫瘍の新規治療戦略	稲生靖	脳神経外科	221万円	補委	文部科学省
血清中抗顆粒球マクロファージコロニー刺激因子の自己抗体の同定及び生理学的役割の解明	山田芳嗣	麻酔科・ 痛みセンター	470万円	補委	文部科学省
痛覚過敏病態形成における脂質シグナル分子の役割の解明	伊藤伸子	麻酔科・ 痛みセンター	180万円	補委	文部科学省
脳磁図による選択的末梢神経刺激磁の脳内反応評価	富岡俊也	麻酔科・ 痛みセンター	150万円	補委	文部科学省
光トポグラフィを用いた幻肢痛発症機構の解明とその治療	住谷昌彦	麻酔科 痛みセンター	60万円	補委	文部科学省
遷延性疼痛の高次運動機能への影響	住谷昌彦	麻酔科・ 痛みセンター	100万円	補委	財団法人石本記念 デサントスポーツ振 興財団
視覚入力による神経リハビリテーション装置の開発	住谷昌彦	麻酔科・ 痛みセンター	50万円	補委	大阪大学先端科学 イノベーションセン ベンチャーサポー トプログラム
前立腺癌特異的の抗腫瘍効果を示すウイルス療法の構築	福原 浩	泌尿器科・男性科	247万円	補委	独立行政法人 日本学術振興会
網膜神経節細胞障害:局所・中枢における高次細胞障害機構とその保護再生治療の研究	新家眞	眼科視覚矯正科	1,480万円	補委	文部科学省
培養ヒト角膜内皮および実質細胞を用いた角膜再生医療の実用化	天野史郎	眼科視覚矯正科	370万円	補委	文部科学省
加齢黄斑変性症に対する新規治療法の開発 ナノテクノロジーによる創薬および黄斑再生	玉置泰裕	眼科視覚矯正科	440万円	補委	文部科学省
緑内障の後眼部血流の生理的性状及び薬理効果 猿緑内障モデル眼と僚眼の比較	富所敦男	眼科視覚矯正科	230万円	補委	文部科学省
錐体視細胞発分化における核内受容体の作用機序の解明	柳靖雄	眼科視覚矯正科	110万円	補委	文部科学省
TGF-beta I型受容体阻害剤の脈絡膜血管新生に対する効果	三嶋弘一	眼科視覚矯正科	250万円	補委	文部科学省
角膜血管新生におけるアンギオテンシン系の役割	臼井智彦	眼科視覚矯正科	300万円	補委	文部科学省
網脈絡膜・視神経萎縮に関する調査研究	新家眞	眼科視覚矯正科	4,940万円	補委	厚生労働省
眼科手術ロボットの開発	玉置泰裕	眼科視覚矯正科	310万円	補委	文部科学省
日本人の緑内障に対する有効な予防と治療臨床的・基礎的エビデンスの確立	新家眞	眼科視覚矯正科	2,900万円	補委	厚生労働省
結膜幹細胞の同定と眼表面疾患への応用	杉崎顕史	眼科視覚矯正科	300万円	補委	文部科学省
狂犬病ウイルスを用いた大脳皮質での立体情報処理機構の解剖学的解明に関する研究	澤村裕正	眼科視覚矯正科	276万円	補委	文部科学省
次世代手術シュミレーション骨モデルの開発	苅田達郎	整形外科・脊椎外科	430万円	補委	文部科学省
超音波を用いた非侵襲膝関節軟骨3次元定量診断装置の開発に関する研究	中村耕三	整形外科・脊椎外科	1,800万円	補委	厚生労働省
発達期に発生する外因性脳障害の診断・治療予防のための実証的研究とガイドライン作成	岡 明	小児科	100万円	補委	厚生労働省

先天性心疾患の術後管理における心拍変動スペクトル解析の有用性	香取 竜生	小児科	50万円	補委	日本学術振興会
ヒトパピローマウイルス持続感染排除を目指した乳酸菌ワクチンの基礎的研究	八杉利治	女性診療科・産科	234万円	補委	日本学術振興会
生殖器粘膜免疫を使用した婦人科腫瘍に対する新規治療戦略のための基礎的研究	川名敬	女性診療科・産科	221万円	補委	日本学術振興会
周産期白質傷害における微小環境と神経再生に関する研究	上妻志郎	女性診療科・産科	793万円	補委	日本学術振興会
新規GHRHアンタゴニストの婦人科腫瘍及び卵巣機能に対する効果と作用機序の解明	矢野哲	女性外科	286万円	補委	日本学術振興会
子宮頸部発癌に関与する新規アポトーシス関連蛋白の探索とそれに基づく治療戦略開発	中川俊介	女性診療科・産科	169万円	補委	日本学術振興会
脳画像解析と生物学的指標を用いた精神疾患の診断と治療効果の判定への応用に関する研究	笠井清登	精神神経科	120万円	補委	国立精神神経センター
広汎性発達障害・ADHDの原因究明と効果的発達支援・治療法の開発—分子遺伝・脳画像を中心とするアプローチ	笠井清登	精神神経科	200万円	補委	厚生労働省
双生児法による精神疾患の病態解明	笠井清登	精神神経科	250万円	補委	厚生労働省
統合脳	笠井清登	精神神経科	230万円	補委	文部科学省
統合失調症治療のガイドラインの作成とその検証に関する研究	笠井清登	精神神経科	43万円	補委	国立精神神経センター
統合失調症におけるグルタミン酸神経伝達異常に対する統合的アプローチ	笠井清登	精神神経科	240万円	補委	文部科学省
統合失調症の多施設共同MRI研究を可能にする施設間データ共有解析法の開発	笠井清登	精神神経科	150万円	補委	統合失調症研究会
思春期精神病理の疫学と精神疾患の早期介入方策に関する研究	笠井清登	精神神経科	120万円	補委	厚生労働省
中枢神経系超早期の発達に影響する分子異常に着目した自閉症脳病態の解明	笠井清登	精神神経科	100万円	補委	文部科学省
客観的バイオマーカーによる統合失調症の早期診断法の開発	笠井清登	精神神経科	150万円	補委	日本医師会医学研究助成費
体幹部定位放射線治療における標的追跡システムの開発	中川 恵一	放射線科	870万円	補委	文部科学省
脳神経領域における診断と治療の融合的支援システムの開発	増谷 佳孝	放射線科	340万円	補委	文部科学省
生体の腫瘍免疫応答を利用した新たな放射線治療法の開発	白石 憲史郎	放射線科	320万円	補委	文部科学省
定量的指標を用いた脳形態および脳機能の統合的解析	阿部 修	放射線科	350万円	補委	文部科学省
放射線治療と免疫細胞療法の併用による革新的ながんの治療法の開発	井垣 浩	放射線科	350万円	補委	文部科学省
ラット肝障害モデルにおける血中ADAMTS13の検討	久米幸夫	検査部	86万円	補委	文部科学省
スフィンゴシン1リン酸の肝障害における意義の解明	池田 均	検査部	338万円	補委	文部科学省

白金ナノコロイドを用いたメタボリックシンドロームの臓器保護作用の検討	下澤 達雄	検査部	221万円	補委	文部科学省
コーゲンビーズカラムを用いた抗血小板剤モニターの標準化	金子 誠	検査部	60万円	補委	公益信託臨床検査医学研究振興基金
血清naked DNAのメチル化を用いた肺癌化学療法感受性予測システムの構築	高井 大哉	検査部	100万円	補委	安田記念医学財団 若手癌研究助成
肺がんのDNAメチル化を用いた治癒切除例における再発予測システム並びに、化学療法感受性予測システムの構築	高井 大哉	検査部	90万円	補委	公益信託臨床検査医学研究振興基金
血清中のDNAのメチル化を用いた肺がん化学療法感受性予測システムの構築	高井 大哉	検査部	100万円	補委	佐川がん研究助成 振興財団
血小板由来生理活性物質の解析:血小板生物学の構築とその測定 の臨床検査医学的応用	矢富 裕	検査部	754万円	補委	文部科学省
腫瘍血管内皮細胞を標的とした新たな癌免疫療法の開発	津野寛和 名川弘一	輸血部 腫瘍外科	7,000万円	補委	文部科学省
医療機器における充電式二次電池の使用の可否:RF-IDタグの機器管理への応用	新秀直	医療機器管理部	110万円	補委	文部科学省
がんの診療科データベースとJapanese National Cancer Database(JNCDB)の構築と運用	中川 恵一	緩和ケア診療部	70万円	補委	厚生労働省
在宅医の早期参加による在宅緩和医療推進に関する研究	中川 恵一	緩和ケア診療部	100万円	補委	厚生労働省
電子カルテシステム等の導入による医療の安全性と質の改善の評価に関する研究	興梠 貴英	健康医科学創造講座	1,200万円	補委	厚生労働省

小計 11
総計 99

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clin Sci (Lond).	A synthetic small molecule, ONO-1301, enhances endogenous growth factor expression and augments angiogenesis in ischemic heart.	中村和人	循環器内科
Hepato Res	Prevalence of Coinfection with Human Immunodeficiency Virus and Hepatitis C Virus in Japan.	小池和彦, 四柳宏, 森屋恭爾	感染症内科
J Virol	Involvement of the PA28 -Dependent Pathway in Insulin Resistance Induced by Hepatitis C Virus Core Protein	小池和彦, 森屋恭爾	感染症内科
Proc Natl Acad Sci USA	Critical role of PA28 γ in hepatitis C virus-associated steatogenesis and hepatocarcinogenesis	小池和彦, 森屋恭爾	感染症内科
World J Gastroenterol	Fatal liver failure caused by reactivation of lamivudine-resistant hepatitis B virus: A case report.	小池和彦, 四柳宏, 森屋恭爾	感染症内科
J Gastroenterol	Drug resistance in antiviral treatment for infections with hepatitis B and C viruses	小池和彦, 四柳宏	感染症内科
J Gastroenterol Hepatol	Hepatitis C virus contributes to hepatocarcinogenesis by modulating metabolic and intracellular signaling pathways.	小池和彦	感染症内科

小計 7

Hepatol Res	Pathogenesis of HCV-associated HCC: dual-pass carcinogenesis through the activation of oxidative stress and intracellular signaling	小池和彦	感染症内科
Hepatol Res	Amino acid substitutions in S region of hepatitis B virus in the sera from patients with acute hepatitis	小池和彦, 四柳宏, 森屋恭爾, 新谷良澄	感染症内科
J Proteome Res	A proteomics method revealed disease-related proteins in livers of hepatitis-Infected mouse model	小池和彦, 森屋恭爾	感染症内科
J Gastroenterol	Hepatitis C as a Systemic Disease: Virus and Host Immunologic Responses Underlie Hepatic and Extrahepatic Manifestations	小池和彦, 四柳宏	感染症内科
Transplant Proc	Impact of new methicillin-resistant Staphylococcus aureus carriage postoperatively after living donor liver transplantation	小池和彦, 森屋恭爾	感染症内科
AIDS Res. and Human Retroviruses	Reversal Periods and Patterns form Drug-Resistant to Wild-Type HIV Type 1 after Cessation of Anti-HIV Therapy	小池和彦	感染症内科
Int J Cancer	Hepatitis C virus core protein induces spontaneous and persistent activation of peroxisome proliferator-activated receptor alpha in transgenic mice: Implications for HCV-	小池和彦, 森屋恭爾	感染症内科
Hep Res	Prevalence of Hepatitis B Virus Infection in Patients with Human Immunodeficiency Virus in Japan	小池和彦, 四柳宏, 森屋恭爾, 新谷良澄	感染症内科
J Clin Invest	Gonzalez FJ, Aoyama T. PPAR- α is essential for severe hepatic steatosis and hepatocellular carcinoma induced by HCV core protein.	小池和彦, 森屋恭爾	感染症内科
Hepatol Res	Effect of treatment with interferon alpha-2b and ribavirin in patients infected with genotype 2 hepatitis C virus.	小池和彦, 四柳宏	感染症内科
Alcohol Clin Exp Res	Evaluation of Quantitative Portal Venous, Hepatic Arterial, and Total Hepatic Tissue Blood Flow Using Xenon CT in Alcoholic Liver Cirrhosis: Comparison With Liver Cirrhosis C	四柳宏	感染症内科
Hepatol Res	Potent induction therapy with interferon and ribavirin combination therapy does not achieve a higher sustained virological response rate in chronic hepatitis C with genotype 1b and high	四柳宏	感染症内科
Hepatol Res	Low serum level of hepatitis B core-related antigen indicates unlikely reactivation of hepatitis after cessation of lamivudine therapy	四柳宏	感染症内科
J Med Virol	Virological features of hepatitis B virus-associated nephropathy in Japan	四柳宏	感染症内科
Hepatol Res	Guidelines for the antiviral therapy of hepatitis C virus carriers with normal serum aminotransferase based on platelet counts	四柳宏	感染症内科
J Gastroenterol Hepatol	Molecular Basis for the Synergy between Alcohol and Hepatitis C Virus in Hepatocarcinogenesis.	小池和彦, 四柳宏, 森屋恭爾, 新谷良澄	感染症内科
Zoolog Sci	Comparison of the antioxidant activity of albumin from various animal species.	四柳宏	感染症内科
Clin Microbiol Infect	Clinical epidemiology of ciproflaxacin resistant Proteus milabilis isolated from urine samples of hospitalised patients	小池和彦, 森屋恭爾	感染制御部
Int J Antimicrob Agents	Detection of plasmid-mediated quinolone resistance associated with qnrA in an Escherichia coli clinical isolate producing CTX-M-9 beta-lactamase in Japan	小池和彦, 森屋恭爾, 齊藤良一	感染制御部
J Infect Chemother	Application of loop-mediated isothermal amplification technique to rapid and direct detection of methicillin-resistant Staphylococcus aureus (MRSA) in blood cultures	小池和彦, 森屋恭爾, 三澤慶樹	感染制御部

Int J Antimicrobial Agents	resistance associated with qnrA in an Escherichia coli clinical isolate producing CTX-M-9 β -lactamase in Japan	小池和彦, 森屋恭爾, 齊藤良	感染制御部
J Clin Invest	PPAR α activation is essential for HCV core protein-induced hepatic steatosis and hepatocellular carcinoma in mice	森屋恭爾	感染制御部
JAMA	Emergence of influenza B viruses with reduced sensitivity to neuraminidase inhibitors.	小池和彦, 畠山修司	感染症内科
Clin Infect Dis	Lower clinical effectiveness of oseltamivir against Influenza B contrasted with influenza A infection in children.	畠山修司	感染症内科
Intern Med	Dengue hemorrhagic shock and disseminated candidiasis.	小池和彦, 畠山修司, 北沢貴利, 貫井陽子	感染症内科
Intern Med	Group G streptococcal bacteremia and vertebral osteomyelitis in a homosexual man with amebic colitis.	畠山修司	感染症内科
Intern Med	Combined treatment with oral kanamycin and parenteral antibiotics for a case of persistent bacteremia and intestinal carriage with Campylobacter coli.	北沢貴利, 糸山智, 畠山修司, 原田壮平	感染症内科
J Gen Virol	Characterization of the variable region in the 3' non-translated region of dengue type 1 virus.	貫井陽子	感染症内科
Scand J Inf Dis	A case of invasive central nervous system aspergillosis treated with micafungin with monitoring of micafungin concentrations in the cerebrospinal fluid.	北沢貴利	感染症内科
Life Sci	Biphasic regulation of levofloxacin on lipopolysaccharide-induced IL-1 β production.	北沢貴利	感染症内科
J Infect Chem	Relationship between initial dose of micafungin and its efficacy in patients with candidemia.	龍野桂太	感染症内科
Intern Med	Dengue Hemorrhagic Shock and Disseminated Candidiasis.	北沢貴利	感染症内科
Immunol Lett	Macrophage tolerance induced by stimulation with Toll-like receptor 7/8 ligands.	北沢貴利	感染症内科
Microbes Infect	Chlamydia antigens induce foam cell formation via c-Jun NH2-terminal kinase. Microbes and Infect.	北沢貴利	感染症内科
J Virol	Long-term control of simian immunodeficiency virus replication with central memory CD4 ⁺ T-cell preservation after nonsterile protection by a cytotoxic T-lymphocyte-based vaccine.	川田真幹	感染症内科
Intern Med	Combined treatment with oral kanamycin and parenteral antibiotics for a case of persistent bacteremia and intestinal carriage with Campylobacter coli.	北沢貴利	感染症内科
Hypertens Res	Low testosterone level is an independent determinant of endothelial dysfunction in men.	秋下 雅弘	老年病科
J Mol Cell Cardiol	Sirt1 modulates premature senescence-like phenotype in human endothelial cells.	大田 秀隆	老年病科
J Biol Chem	Thioredoxin suppresses Pael-R-induced neurotoxicity and extends longevity in drosophila.	亀山 祐美	老年病科
Am J Physiol Cell Physiol	Beta-defensin overexpression induces progressive muscle degeneration in mice.	山口 泰弘	老年病科

J Appl Physiol	Adrenomedullin insufficiency increases allergen-induced airway hyperresponsiveness in mice.	山本 寛	老年病科
Int J Cardiol	Tako-tsubo-like left ventricular dysfunction in a patient with chronic total occlusion of the left anterior descending artery	小島 太郎	老年病科
分子精神医学	地域在住高齢者における高次生活機能-気分と食品摂取頻度との関係.	山口 潔	老年病科
日老医誌	An elderly case with group B streptococcal bacteremia, subcutaneous abscess and reactive polyarthritis	大田 秀隆	老年病科
Gastroenterology	Neither multiple tumors nor portal hypertension are surgical contraindications for hepatocellular carcinoma.	Ishizawa T	肝胆膵・移植外科
Ann Surg	Surgery or ablation for hepatocellular carcinoma?	Hasegawa K	肝胆膵・移植外科
Hepatogastroenterology	Demographic and clinical characteristics of resectable hepatocellular carcinoma in China and	Yuan P	肝胆膵・移植外科
Liver Tranpl	Outcome of living donor liver transplantation for post-kasai biliary atresia in adults.	Kyoden Y	肝胆膵・移植外科
Ann Surg	Right hepatectomy for hepatocellular carcinoma:is the anterior approach superior to the conventional approach?	Ishizawa T	肝胆膵・移植外科
Transpl Int	Intraoperative ultrasound guided portal venous thrombectomy in living donor liver transplantation recipient surgery.	Inoue Y	肝胆膵・移植外科
Clin Gastroenterol Hepatol	Retroperitoneal benign schwannoma in the suprapancreatic area.	Hashimoto M	肝胆膵・移植外科
Transplant Proc	Impact of new methicillin-resistant Staphylococcus aureus carriage postoperatively after living donor liver transplantation.	Hashimoto M	肝胆膵・移植外科
Transplant Proc	Impact of live donor age(≥ 50)on liver transplantation.	Akamatsu N	肝胆膵・移植外科
Arch Surg	Detection of new tumors by intraoperative ultrasonography during repeated hepatic resections for hepatocellular carcinoma.	Zhang K	肝胆膵・移植外科
Transpl Int	Biliary complications in right lateral sector graft live donor liver transplantation.	Kyoden Y	肝胆膵・移植外科
Hepatogastroenterology	In situ hepatic vein graft: a simple new technique for hepatic venous reconstruction.	shidoh J	肝胆膵・移植外科
Surgery	Femoral neck fracture as a complication of lipase-secreting pancreatic acinar cell carcinoma.	Hashimoto M	肝胆膵・移植外科
Infection	Preemptive treatment of fungal infection based on plasma(1 \rightarrow 3)beta-D-glucan levels after liver transplantation.	Akamatsu N	肝胆膵・移植外科
Dig Surg	Transhepatic approach for a small paracaval tumor in repeat resection.	Ishizawa T	肝胆膵・移植外科
Dig Dis Sci	Liver transplantation using hepatitis B core antibody-positive grafts:review and university of Tokyo experience.	Takemura N	肝胆膵・移植外科
Surgery	Celiac axis compression during the expiratory phase as a cause of hepatic ischemia during pancreaticoduodenectomy.	Hashimoto M	肝胆膵・移植外科
Am J surg	Reappraisal of duct-to-duct biliary reconstruction in hepa resection for liver tumors.	Hashimoto M	肝胆膵・移植外科
J Gastroenterol Hepatol	Education and Imaging.Hepatobiliary and pancreatic:extended directional power Doppler ultrasonography in live transplantation.	Kaneko J	肝胆膵・移植外科
Saudi Med J	Surgical management of hepatocellular carcinoma. Liver resection and liver transplantation	Hasegawa K	肝胆膵・移植外科
Hepatogastroenterology	Hepatofugal portal flow after living donor liver transplantation.	Kyoden Y	肝胆膵・移植外科
Transpl Infect Dis	Methicillin-resistant Staphylococcus aureus infection after living-donor liver transplantation in adults.	Hashimoto M	肝胆膵・移植外科

Transplant Proc	Blood eosinophilia after living donor liver transplantation for hepatitis C virus-related cirrhosis.	Kishi Y	肝胆膵・移植外科
Gut	Dissemination of evidence-based clinical practice guidelines for hepatocellular carcinoma among Japanese hepatologists, liver surgeons and primary care physicians.	Kokudo N	肝胆膵・移植外科
Liver Tranpl	Systematic grading of surgical complications in live liver donors.	Sugawara Y	肝胆膵・移植外科
Liver Tranpl	Impact of human leukocyte antigen mismatching on outcomes of living donor liver transplantation for primary biliary cirrhosis.	Hashimoto T	肝胆膵・移植外科
Ann Surg	Staging of hepatocellular carcinoma: assessment of the Japanese TNM and AJCC/UICC TNM systems in a cohort of 13,772 patients in Japan.	Minagawa M	肝胆膵・移植外科
Ann Surg	Intraoperative blood salvage during liver resection: a randomized controlled trial.	Hashimoto T	肝胆膵・移植外科
J Clin Oncol	Control arm for surgery alone is needed but difficult to obtain in randomized trials for adjuvant chemotherapy after liver resection for colorectal metastases.	Kokudo N	肝胆膵・移植外科
Oncol Rep	Subcellular localization of KL-6 mucin in colorectal carcinoma cell lines: association with metastatic potential and cell morphology.	Guo Q	肝胆膵・移植外科
Surgery	Preservation of thick middle hepatic vein tributary during right paramedian sectoriectomy.	Hashimoto M	肝胆膵・移植外科
Oncol Rep	KL-6 mucin is a useful immunohistochemical marker for cholangiocarcinoma.	Tang W	肝胆膵・移植外科
Neurosurgery	Expressive and receptive language areas determined by a non-invasive reliable method using functional magnetic resonance imaging and magnetoencephalography.	鎌田恭輔	脳神経外科
J Neurosurg	Visualization of the frontotemporal language fibers by tractography combined with functional magnetic resonance imaging and magnetoencephalography.	鎌田恭輔	脳神経外科
Neurophysiol Clin	Subthalamic nucleus stimulation in Parkinson's disease: postoperative CT-MRI fusion images confirm accuracy of electrode placement using intraoperative multi-unit recording.	辛正廣	脳神経外科
Front Biosci.	Oncolytic virus therapy using genetically engineered herpes simplex viruses.	藤堂具紀	脳神経外科
J Neurosurg	Optic radiation tractography integrated into gamma knife surgery.	丸山啓介	脳神経外科
Neurosurgery	Radiosurgery to reduce the risk of first hemorrhage from brain arteriovenous malformations.	丸山啓介	脳神経外科
Rheumatology 47:1038-43, 2008	Mirror visual feedback alleviates deafferentation pain, depending on qualitative aspects of the pain: a preliminary report	住谷昌彦	麻酔科・痛みセンター
J Glaucoma	Frequency doubling technology perimetry in open-angle glaucoma eyes with hemifield visual field damage	Araie M	眼科視覚矯正科
British Journal of Ophthalmology	The IOP-lowering effects and mechanism of action of tafluprost in prostanoid receptor deficient mice	Araie M	眼科視覚矯正科
American Journal of Ophthalmology	Corneal thickness and relating factors in a population-based study in Japan; the Tajimi study	Tomidokoro A	眼科視覚矯正科
Mol Biol Cell	Prox1 induces lymphatic endothelial differentiation via integrin alpha9 and other signalling cascade	Mishima K	眼科視覚矯正科
Graefe Arch Clin Exp Ophthalmol	Evaluation of the safety of xenon/bandpass light in vitrectomy using the A2E-laden RPE model	Yanagi Y	眼科視覚矯正科

British Journal of Ophthalmology	Effect of anti-VEGF antibody on retinal ganglion cells in rat	Yanagi Y	眼科視覚矯正科
Ophthalmology	Performance of frequency doubling technology perimetry in a population-based prevalence survey of glaucoma; the Tajimi study	Araie M	眼科視覚矯正科
Investigative Ophthalmology and Visual Science	Roles of migration inhibitory factor in corneal neovascularization	Usui T	眼科視覚矯正科
Molecular Vision	Autologous transplantation of conjunctival epithelial cells cultured on amniotic membrane in a rabbit model	Amano S	眼科視覚矯正科
Brain Res	Effects of BAX-inhibiting peptides in retinal ganglion cell death induced glutamate or oxidative stress in vitro	Aihara M	眼科視覚矯正科
Ultrasound Med Biol. 34 (5) 2008	A new method for evaluation of fracture healing by echo tracking.	松山順太郎	整形外科・脊椎外科
日本小児科学会雑誌	食道静脈瘤を呈した常染色体劣性多発性嚢胞腎の1女児例に対する先行的生体腎移植	三浦健一郎	小児科
American Journal of Reproductive Immunology	Theoretical basis for herbal medicines, Tokisyakuyaku-San and Sairei-To, in the treatment of recurrent abortion: enhancing the production of granulocyte-macrophage colony-stimulating factor in decidual stromal cells.	永松健	女性診療科・産科
Ann Neurol	Human brain structural change related to acute single exposure to sarin.	Yamasue H	精神神経科
Clin Neurophysiol	Electrophysiological abnormalities of spatial attention in adults with autism during the gap overlap task.	Kawakubo Y	精神神経科
Neurosci Res	Multiple-time repeatability of near-infrared spectroscopy recording during prefrontal activation task in healthy men.	Kono T	精神神経科
Prog Neuro-Psychopharmacol Biol Psychiatry	No association between the Neuronal Pentraxin II gene polymorphism and autism	Marui T	精神神経科
Psychiatry Clin Neurosci	Moral judgment in high-functioning pervasive developmental disorders.	Takeda T	精神神経科
Psychiatry Res	Phonetic mismatch negativity predicts social skills acquisition in schizophrenia.	Kawakubo Y	精神神経科
Brain Dev	Tachykinin 1 (TAC1) gene SNPs and haplotypes with autism: a case-control study.	Marui T	精神神経科
Eur Arch Psychiatry Clin Neurosci	Reduced planum temporale volume and delusional behavior in patients with schizophrenia.	Yamasaki S	精神神経科
Psychiatry Clin Neurosci	Increased positive thought disorder with illness duration in patients with schizophrenia.	Maeda K	精神神経科
Brain Nerve	Magnetic resonance diffusion tractography in the brain—its application and limitation.	Aoki S	放射線科
Radiat Med	3T PROPELLER diffusion tensor fiber tractography: a feasibility study for cranial nerve fiber tracking.	Kabasawa H	放射線科
J Magn Reson Imaging	Utilization of diffusion tensor tractography in combination with spatial normalization to assess involvement of the corticospinal tract in capsular/pericapsular stroke: feasibility and clinical implications.	Kunimatsu A	放射線科
IEEE Trans Biomed Eng	A rod matrix compensator for small-field intensity modulated radiation therapy: a preliminary phantom study.	Nakagawa K	放射線科
Radiat Prot Dosimetry	Radiophotoluminescence dosimetry using a small spherical glass: a preliminary phantom study.	Nakagawa K	放射線科

Jpn J Clin Oncol	A retrospective study of radiotherapy for spinal bone metastases from hepatocellular carcinoma (HCC).	Nakamura N	放射線科
Br J Radiol	Evaluation of an automated system for temporal subtraction of thin-section thoracic CT.	Takao H	放射線科
Br J Radiol	Superselective transcatheter arterial chemoembolisation of an unresectable hepatocellular carcinoma using three-dimensional rotational angiography.	Takao H	放射線科
Clin Imaging	Mycotic pulmonary artery aneurysm diagnosed 18 years after bacterial endocarditis.	Takao H	放射線科
Radiology	Treatment of unruptured intracranial aneurysms: decision and cost-effectiveness analysis.	Takao H	放射線科
J Gastroenterol Hepatol	Radiotherapy for lymph node metastases in patients with hepatocellular carcinoma: retrospective study.	Yamashita H	放射線科
Radiat Oncol	Exceptionally high incidence of symptomatic grade 2-5 radiation pneumonitis after stereotactic radiation therapy for lung tumors.	Yamashita H	放射線科
Neurobiol Aging	Aging in the CNS: comparison of gray/white matter volume and diffusion tensor data.	Abe O	放射線科
J Radiat Res	Pathological changes in the gastrointestinal tract of a heavily radiation-exposed worker at the Tokai-mura criticality accident.	Igaki H	放射線科
J Appl Phys	Estimation of cell membrane permeability of the rat brain using diffusion magnetic resonance imaging.	Imae T	放射線部
Acad Radiol	Quantitative diffusion tensor analysis using multiple tensor ellipsoids model and tensor field interpolation at fiber crossing.	Kabasawa H	放射線科
Clin Cancer Res	Enhancement of antitumor radiation efficacy and consistent induction of the abscopal effect in mice by ECI301, an active variant of MIP-1 α .	Shiraishi K	放射線科
Acad Radiol	Screening of familial intracranial aneurysms: decision and cost-effectiveness analysis.	Takao H	放射線科
Br J Radiol	Treatment of ruptured intracranial aneurysms: a decision analysis.	Takao H	放射線科
Clin Imaging	Primary malignant melanoma of the anterior mediastinum: CT and MR findings.	Takao H	放射線科
Dis Esophagus	A single institutional non-randomized retrospective comparison between definitive chemoradiotherapy and radical surgery in 82 Japanese patients with resectable esophageal	Yamashita H	放射線科
Therapeutic Apheresis and Dialysis	Double filtration plasmapheresis can decrease factor XIII Activity.	花房 規男	血液浄化療法部
Am. J. Physiol. Gastrointest. Liver Physiol.	Rho-kinase inhibitor prevents hepatocyte damage in acute liver injury induced by carbon tetrachloride in rats	池田 均	検査部
FEBS Lett.	Hepatic stellate cell damage may lead to decreased plasma ADAMTS13 activity in rats	久米 幸夫	検査部
Anal. Biochem.	Suppression of lysophosphatidic acid and lysophosphatidylcholine formation in the plasma in vitro: Proposal of a plasma sample preparation method for laboratory testing of these lipids	中村 和宏	検査部
Clin. Biochem.	Measurement of lysophospholipase D/autotaxin activity in human serum samples	中村 和宏	検査部
Ann. Clin. Biochem.	Serum lysophospholipase D/autotaxin may be a new nutritional assessment marker: study on prostate cancer patients	中村 和宏	検査部
Eur. J. Haematol.	Lysophosphatidic acid protection against apoptosis in the human pre-B-cell line Nalm-6	佐藤 優美子	検査部

Hypertens. Res.	Effectiveness of add-on low-dose diuretics in combination therapy for hypertension: losartan/hydrochlorothiazide vs. candesartan/amlodipine	下澤 達雄	検査部
J. Clin. Gastroenterol.	Both Plasma Lysophosphatidic Acid and Serum Autotaxin Levels are Increased in Chronic Hepatitis C	渡邊 尚子	検査部
Life Sci.	Plasma lysophosphatidic acid level and serum autotaxin activity are increased in liver injury in rats in relation to its severity	渡邊 尚子	検査部
European Journal of Cancer	Pilot study of anti-angiogenic vaccine using fixed whole endothelium in patients with progressive malignancy after failure of conventional therapy	大梶祐頼、津野寛和、名川弘一、他	輸血部、腫瘍外科
American Journal of Hospice & Palliative Medicine	Preliminary Stastical Assessment of Intervention by aPalliative Care Team Working in aJapanese General Inpatient Unit.	Iwase S,Nakagawa K他	緩和ケア診療部
Digestion	Palliative radiation therapy for advanced gastrointestinal cancer.	Murakami N,Nakagawa K他	緩和ケア診療部
New England Journal of Medicine 358(3): 308, 2008	CTGF polymorphism associated with systemic sclerosis.	Morita H, Hayashi D, Nagai R.	健康医科学創造講座
Circulation Journal 72(4):515-520,2008	Rationale and Design of a Study to Examine Lower Targets for Low-Density Lipoprotein-Cholesterol and Blood Pressure in Coronary Artery Disease Patients. — The Japanese Coronary Artery Disease Study JCAD II —	Nagai R, Hayashi D, et al.	健康医科学創造講座
Journal of clinical investigation 117(5): 1432-1439, 2007	Aberrant activation of AMP-activated protein kinase remodels metabolic network in favor of cardiac glycogen storage.	Luptak I, Morita H, et al.	健康医科学創造講座
American journal of cardiology 100(12):1750-3,2007	Comparison of cardiovascular events in patients with angiographically documented coronary narrowing with combined renin-angiotensin system inhibitor plus statin versus renin-angiotensin system inhibitor alone versus statin alone (from the Japanese Coronary Artery Disease Study).	Fujita M, Hayashi D, et al.	健康医科学創造講座
Circulation Journal 71(12):1835-1840,2007	Effects of Medication on Cardiovascular Events in the Japanese Coronary Artery Disease (JCAD) Study.	Kohro T, Hayashi D, et al.	健康医科学創造講座
Journal of Atherosclerosis and Thrombosis 14(5):226-34,2007	Transcriptional activation by hypoxia and low-density lipoprotein loading in cultured vascular smooth muscle cells.	Sugiyama A, Kohro T, et al.	健康医科学創造講座

小計 12
総計 152

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第 12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 武谷雄二		
管理担当者氏名	事務部長 榑山 博	総務課長 服部雄幸	管理課長 瀧田忠彦
	経営戦略課長 塩崎英司	医事課長 佐々木順三	
	薬剤部長 鈴木洋史	看護部長 榮木実枝	
	医療機器管理部長 玉井久義		

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医事課 (中央病歴) ※病院日誌については看護部	・診療記録は、1患者1ファイル方式での一括管理であるが、外来と入院は区分して保管している。 ・エックス線写真は、1患者1ファイル方式での管理である。 ・エックス線写真は、平成15年よりPACS (医用画像保存は配信システム) による。	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	総務課	・月別・年度別にPCで保管	
	高度の医療の提供の実績	医事課	・年度別にPCで保管 (先進医療等の申請実績)	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	各診療科・部 ・センター		
	高度の医療の研修の実績			
	閲覧実績	総務課		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課	・月別・年度別にPCで保管	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事課・薬剤部		
	確規 保則 の第 9 状 条 の 2 3 及 び 第 1 条 の 1 1 各	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	総務課	・年度別にPCで保管
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課	
		医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	総務課	
当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		総務課		
医療に係る安全管理のための指針の整備状況		総務課		
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	総務課		

号に掲げる体制	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	総務課
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第1条の11各号に掲げる体制確保の状況	総務課	・年度別にPCで保管
	院内感染のための指針の策定状況	総務課	
	院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課	
	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	総務課	
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	総務課	
	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課、 薬剤部	
	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	総務課、 薬剤部	
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	総務課、 薬剤部	
	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部 薬品情報室	
	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課、 管理課、 医事課	
従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器管理部	一覧にしてPCで保管	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器管理部	計画に関しては医療機器毎にPCで保管および紙面にて保管。	

				実施状況に関しては紙面にて保管および医療機器管理データベースで管理
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療機器管理部	PCおよび紙面にて保管

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 櫛山 博
閲覧担当者氏名	総務課長 服部雄幸
閲覧の求めに応じる場所	院内会議室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	68.3%	算定期間	平成19年4月1日～平成20年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	19,203人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	3,952人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	6,683人	
	D: 初診の患者の数	39,718人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 9 条の 2 3 及び第 1 条の 1 1 各号に掲げる体制の確保状況

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (2名) ・ 無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 無
<p>・ 所属職員： 専任 (6) 名 兼任 (5) 名</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) 医療事故及びインシデントの収集・調査・分析・防止対策に関すること。</p> <p>(2) 医療事故及びインシデントの事例・対策等の情報収集に関すること。</p> <p>(3) 医療事故防止対策の周知徹底に関すること。</p> <p>(4) 医療事故防止に係る病院内の巡視・点検・評価に関すること。</p> <p>(5) 医療事故防止に係る業務の提言・指導に関すること。</p> <p>(6) 医療事故防止対策マニュアルに関すること。</p> <p>(7) リスクマネジメントに係わる教育・研修等の計画・立案・実施に関すること。</p> <p>(8) リスクマネジメントに係わる各種委員会に関すること。</p> <p>(9) 医療訴訟に関すること。</p>	
④ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>ア. 医療機関における安全管理に関する基本的な考え方</p> <p>イ. 医療に係る安全管理のために委員会等安全管理に関する組織に関する基本事項</p> <p>ウ. 医療に係る安全管理のために職員研修等に関する基本事項</p> <p>エ. 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針</p> <p>オ. 医療事故等発生時の対応に関する基本方針</p> <p>カ. 医療従事者と患者との間の情報の共有に関する基本方針</p> <p>キ. 患者からの相談への対応に関する基本方針</p> <p>ク. その他医療安全の推進のために必要な基本方針</p>	
⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>(1) アナフィラキシーショックへの対応</p> <p>(2) インスリンの外来処方システム</p> <p>(3) 安全管理指針の改訂</p> <p>(4) 医療安全 e ラーニングの実施</p> <p>(5) 危険予知投稿への対応</p> <p>(6) リスクマネジメントに関する研究課題の募集</p> <p>(7) Pocket 医療安全マニュアルの改訂</p> <p>(8) その他医療事故防止のための改善等必要な事項の審議</p>	

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 96回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： (1) 東大病院における医療安全管理について (2) アナフィラキシーショック研修 (3) KYTへのとりくみ (4) 医療の質と安全性への対応について (5) 医療安全を発展的に再生産できる組織 (6) ヒューマンエラー低減対策と活動 	
⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 分析小委員会を開催し、報告された事例について現場レベルのスタッフで改善・防止策を検討している。 (2) リスクマネージャー会議で、リスクマネジメント委員会の決定事項の報告、事例についての討議、その他医療安全に関する情報の周知を行っている。会議にはジュニアリスクマネージャーも出席し、直接医療の中心を担う立場の者からも周知を図っている。 (3) オカレンス・インシデントレポートの中から報告頻度の高い事例をテーマとし、ジュニアリスクマネージャー及び看護部安全対策フロア委員を8つのグループに分け、1グループ1テーマについて、改善策・防止策を検討している。 (4) 他の医療機関で発生した事例も含め、注意喚起が必要な事例を院内一斉メールで周知している。 (5) Pocket医療安全マニュアルを作成し、全病院職員に配布している。 (6) 医療安全対策センターで毎月ラウンドを行い、改善策の実施状況等を調査している。 (7) 各診療科・部毎に研修を行い、医療事故防止対策の啓発を図っている。 	

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指針の主な内容： ア. 病院感染対策に関する基本的考え方 イ. 病院感染対策のための委員会等病院感染対策の組織に関する基本的事項 ウ. 病院感染対策のための職員に対する研修に関する基本方針 エ. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 オ. 病院感染発生時の対応に関する基本方針 カ. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 キ. その他病院感染対策推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 活動の主な内容： (1) 院内手洗い相互チェックの実施 (2) 多剤耐性菌に対する対応 (3) 東京大学医学部附属病院における病院感染対策に関する指針の作成 (4) CDトキシンの対応（シールの運用方法） (5) 病院感染対策マニュアルの改訂 (6) その他院内感染防止のための改善等必要な事項の審議 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 122回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： (1) 東大病院における病院感染対策のCost Benefit (2) 手洗い実習 (3) 感染対策基礎研修 (4) 院内感染防止対策の実際 (5) 感染対策ワンポイントレッスン 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： (1) 毎週、ICTメンバーによる院内のラウンドの実施。 (2) 月1回ICTニュースを発行。 (3) 年3回以上感染対策関連のセミナーの開催。 (4) 毎年度、院内感染対策 病院感染減少へ向けた努力が顕著であった病院部所を表彰 (5) リンクドクター連絡会議で、病院感染対策委員会の決定事項の報告、その他感染対策に関する情報の周知及びミニレクチャーの実施。 	

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： リスクマネジャー会議において、日本医療機能評価機構から出されている医療安全情報を定期的に定示するとともに、医薬品に関するオカレンス・インシデント事例を例に注意喚起を行う。 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 医薬品の業務手順書に基づき業務が実施されているかを定期的に確認する。 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 収集整理した情報を院内ニュースとして職員全体に配信するとともに、配信データは、院内専用の掲示板に載せ、常時閲覧できるようにしている。 	

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 99回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> 1) 人工呼吸器の使用方法 2) AEDの使用方法 3) 低圧持続吸引機の使用方法, 4) 除細動器の使用方法 5) 輸液ポンプ、シリンジポンプの使用方法等 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 計画の策定 (有・無) ・ 保守点検の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 人工呼吸器の定期点検 (2) 除細動器の定期点検 (3) 血液浄化装置の定期点検 (4) 人工心肺装置および補助循環装置の定期点検 (5) 輸液ポンプ、シリンジポンプ、超音波ネブライザ、体外式ペースメーカー、電気メス、モニタ等各種医療機器の定期点検 (6) 医療機器返却時の清拭および終業点検 (7) 人工呼吸器の始業点検、使用中点検 (8) 新規購入機器の機種選定と納入時点検 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全対策センター兼任スタッフとして臨床工学技士の配置 (2) リスクマネージャ会議での医療機器に関する注意喚起 (3) 院内広報紙の発行 (医療機器の操作方法や注意点などを記載) (4) 院内HPへ院内広報紙の掲載と各種取扱説明書、添付文書の掲載 (5) 医療テレメータのゾーン管理とチャンネル管理の実施 (6) 院内横断組織である呼吸療法サポートチーム (RST) の運営、呼吸ケアの質の向上に関する勉強会の実施や人工呼吸に関する院内の連絡窓口の設置、人工呼吸療法に関する各種手順の決定とマニュアルの改訂、 (7) 不具合情報の院内メールでの通知 (8) 不具合情報の業者への報告 (9) 不具合情報の厚生労働省への報告 	